

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県伊勢佐木警察署協議会
日時	令和5年4月27日（木）午前10時から正午までの間
場所	神奈川県伊勢佐木警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 南雲誠司、織茂圭賛、白井崇雄、野村真人、河原敬子、木村友之、山森典子 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 倉林徹、副署長 塩田信之、会計担当次長 千秋昭蔵、刑事担当次長 村上直幸、 調査官 早野康孝、留置管理課長、高松尚弘、刑事第一課長 四釜真一、刑事第二課長 和知大輔、 交通課長 田口晃、警備課長 田部勇二 計10人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>1 前回諮問「伊勢佐木警察署における人的基盤の強化」の答申概要</p> <p>(1) 人材確保のため、大学に出向いて採用活動を行い、併せて職業体験をさせたらどうか。</p> <p>(2) 県内にとどまらず、他県にも赴いて採用活動を行ってみてはどうか。</p> <p>(3) 伊勢佐木警察署だけの問題ではないが、外国人の雇用など、採用の枠組みを見直す時期にきているのではないか。</p> <p>(4) 職場環境は採用活動にもつながるため、建て替え等の検討をしてみてもどうか。</p> <p>(5) 伊勢佐木は県内外にもネームバリューがあるので、その知名度を生かしたPRをしてみてもどうか。地元愛の強い志願者の採用にもつながるのではないか。</p> <p>(6) 警察官募集のポスター掲示を町内会、民間企業のインフォメーションコーナーなどにも協力を依頼し、掲示の範囲を広げてみてはどうか。</p>
	<p>2 措置結果</p> <p>(1) 関東学院大学への訪問 本年4月1日から、当署管内に関東学院大学が開設されたことから同大学に赴き、当署との良好な関係の構築を図るとともに、採用にかかわる協力体制を依頼した。 なお、本年7月から、令和5年度第2回神奈川県警察官採用試験が行われることから、その際の勸奨活動の協力を依頼した。</p>
	<p>(2) 採用ポスターの掲示 当署管内に所在する駅（JR石川町駅、京浜急行日ノ出町駅、市営地下鉄桜木町駅、JR桜木町駅、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅）に、採用ポスターの掲示を依頼した。</p>
	諮問
	「アクティブ交番について」
答申	
「周知の徹底をお願いしたい」	
<p>1 アクティブ交番の効果的な運用についての諮問だが、周知できていない。 我々を含め、アクティブ交番を知っている方が少ないので、まずは周知活動を徹底してもらいたい。</p>	

- 2 アクティブ交番の車両が止まっていると、交番活動を行っているのではなく、事件や事故の警戒をしていると思ってしまう。むしろ近寄りがたい。交番機能を有しているパトカーであることを、我々は知らないで、パトカーの業務とは異なる車両であることを周知してはどうか。
- 3 拠点を3か所設定して活動を行っているということだったが、その3か所の拠点に、アクティブ交番を運用しているという掲示を依頼して周知を図ったらどうか。

業務説明

前四半期（令和5年1月から3月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年4月から6月まで）の業務推進重点については、事前に資料を委員に配布し説明した。